



Windows Live メールから Outlook2013への 移行マニュアル



【ご確認ください】

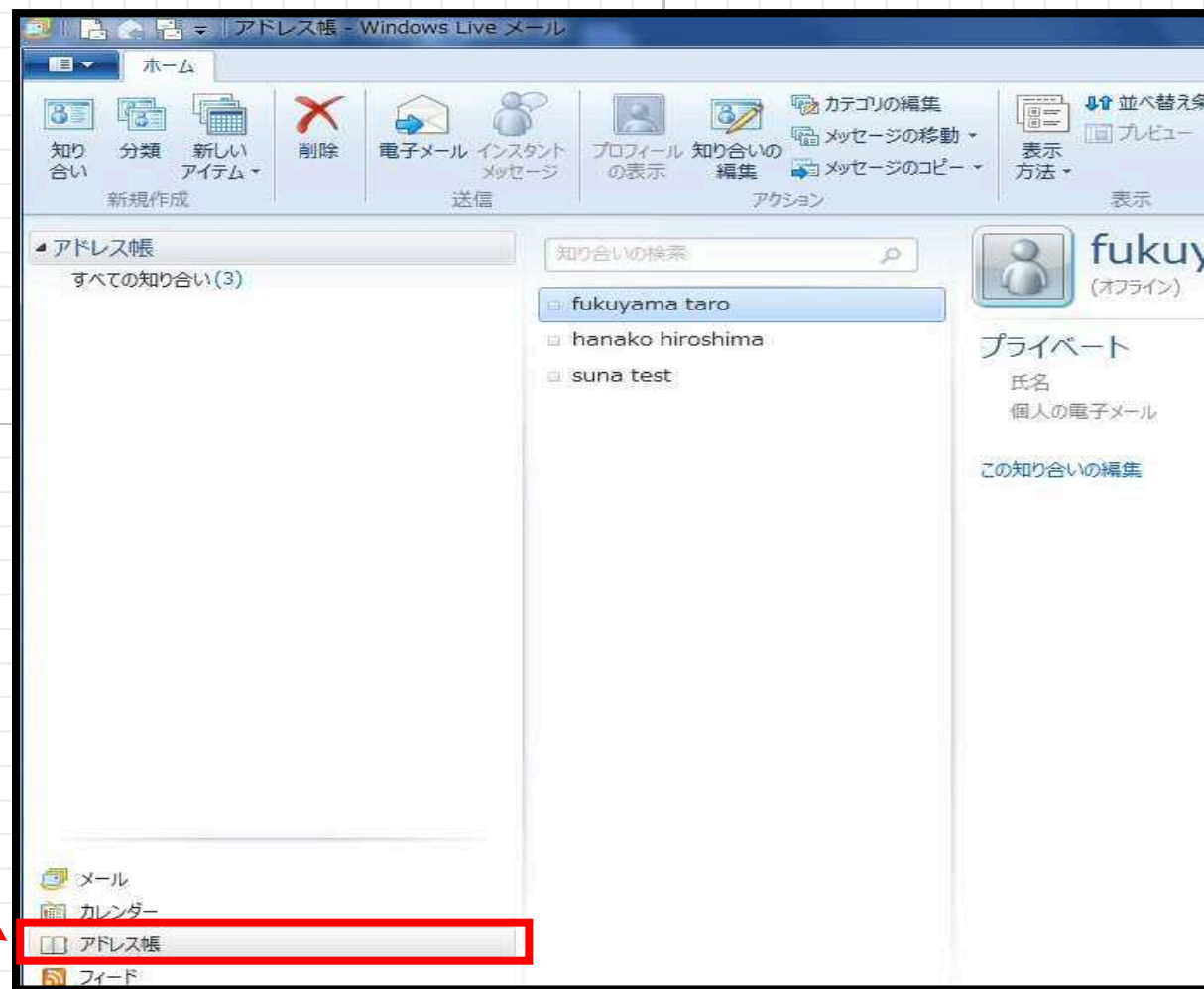
- 設定をする際には契約されているメールサーバー情報が
必要になる可能性がありますので準備をして頂き作業願います
- 送信者名や署名設定等が正確に移行されているか確認をお願い致します
- アドレス帳の移行に関してはアドレス帳の作成方法に
よってはすべての情報が移行されない可能性があります

アドレス帳のどの項目が必要なのか事前に確認
して頂き、移行後の状態が正確かの判断をお願い致します



まず、アドレス帳の移行から行います。

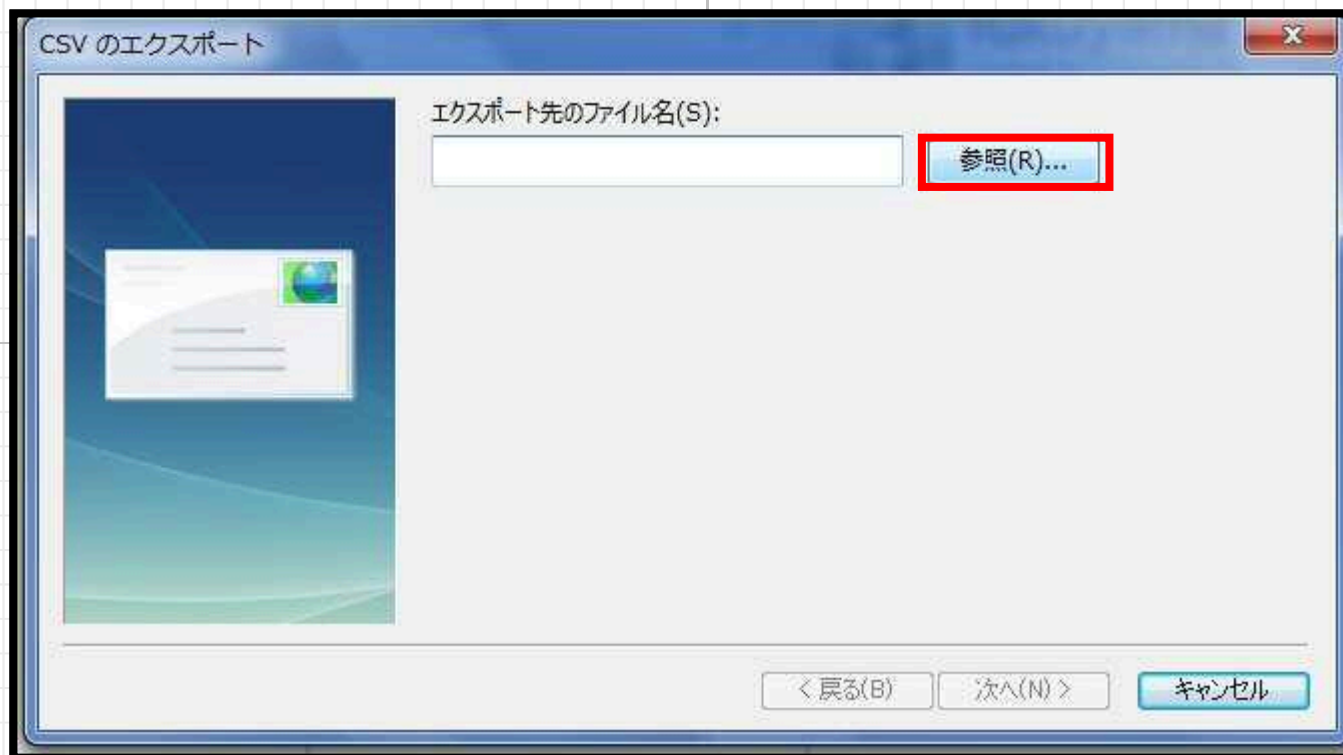
Liveメールを開き、【アドレス帳】を選択します。



右上の【エクスポート】を選択し、【カンマ区切り(.CSV)】をクリックします。

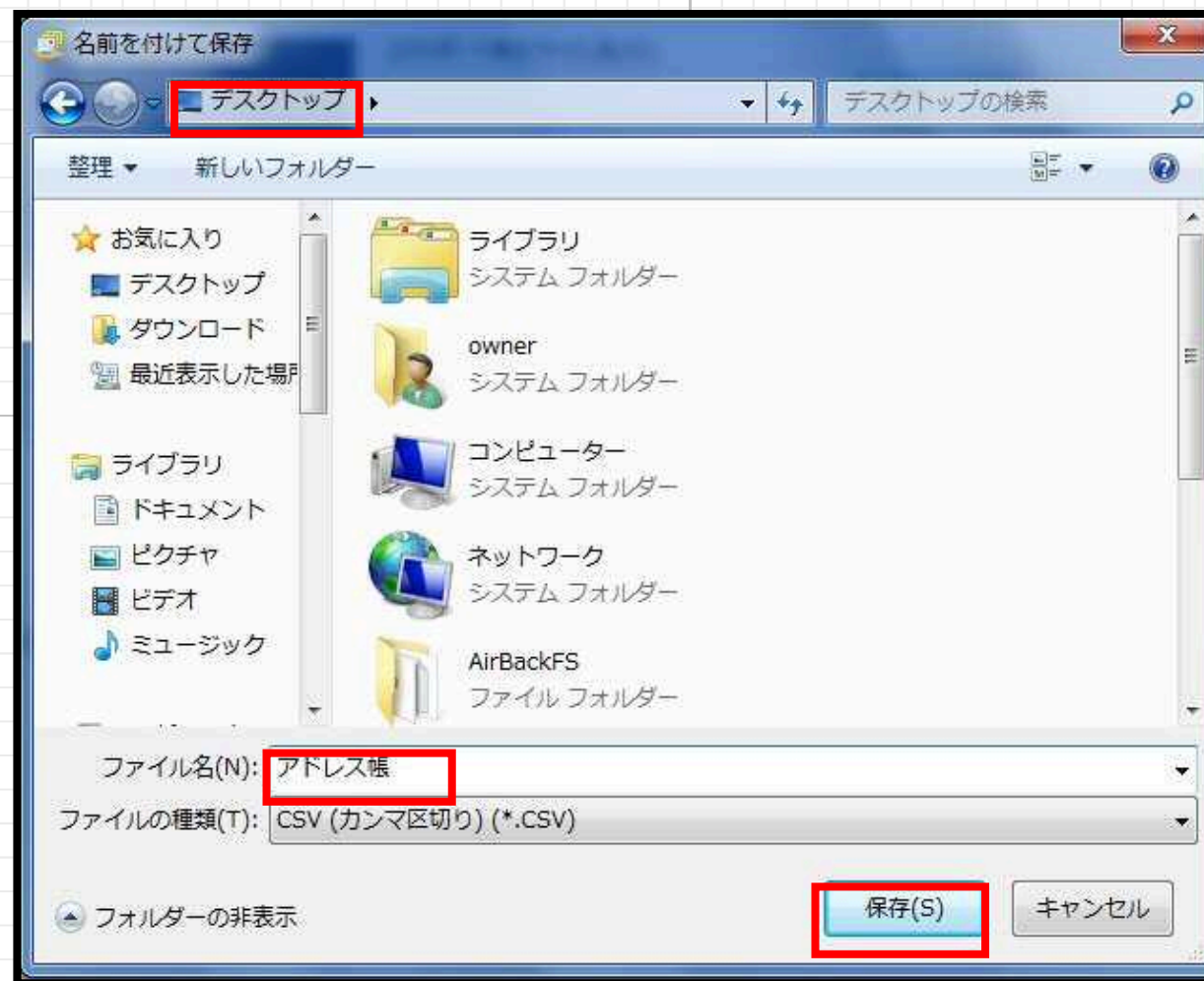


エクスポート先のファイル名(保存先)を聞かれるので、【参照】で選択します。

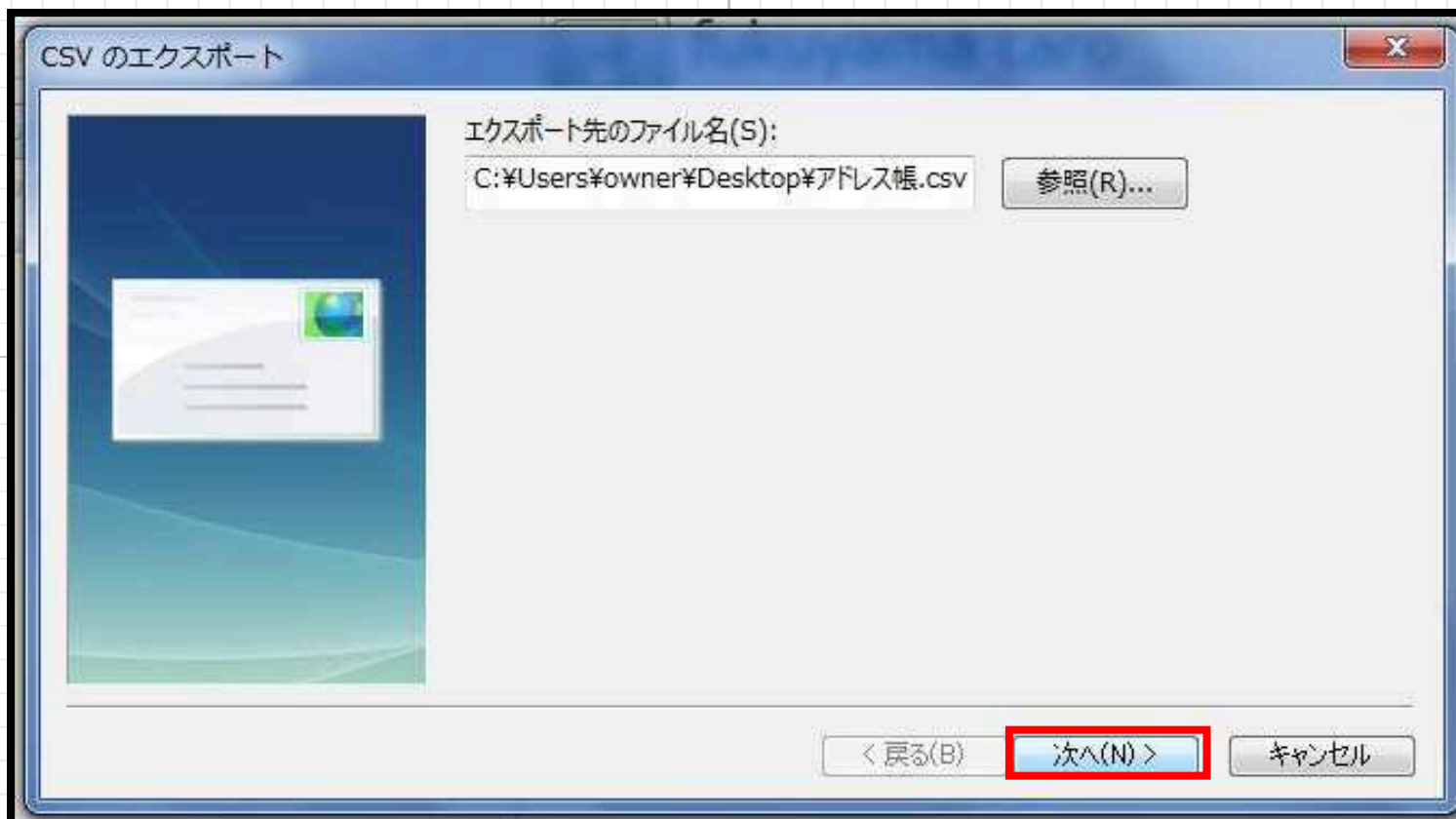


保存先を選択します。今回はデスクトップに保存します。

ファイル名はわかりやすく「アドレス帳」とつけて、【保存】をクリックします。

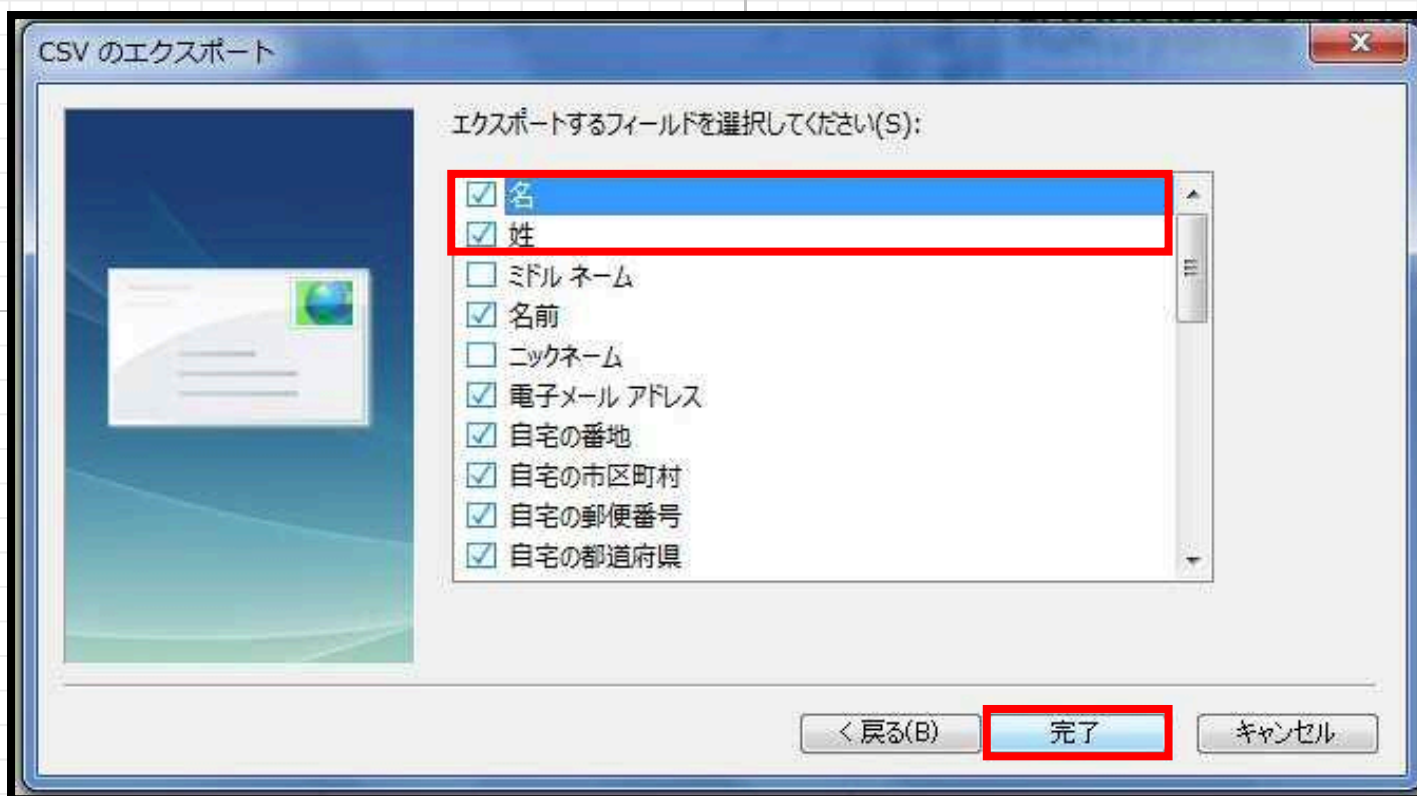


ファイル名が表示されました。【次へ】をクリックします。

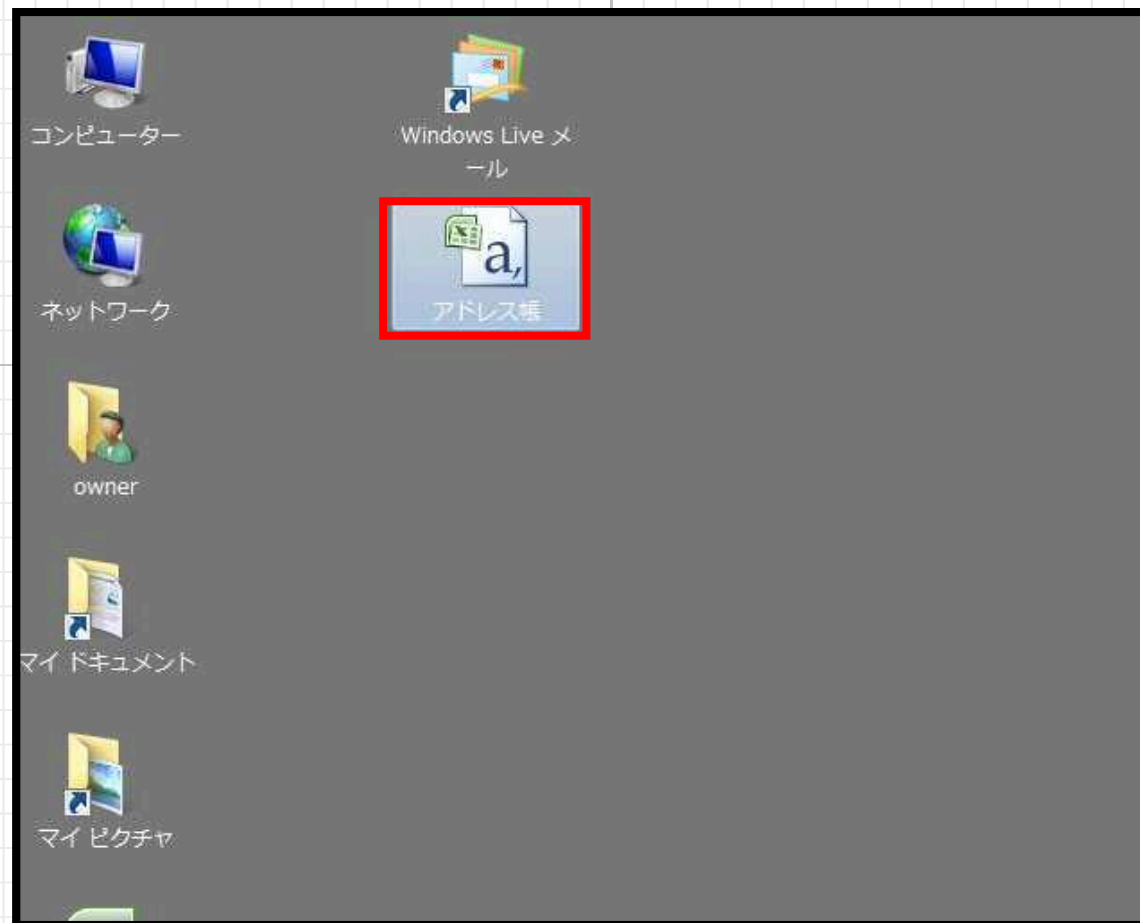


エクスポートするフィールド選択を行います。

【名・姓】にチェックを入れ、【完了】をクリックします。



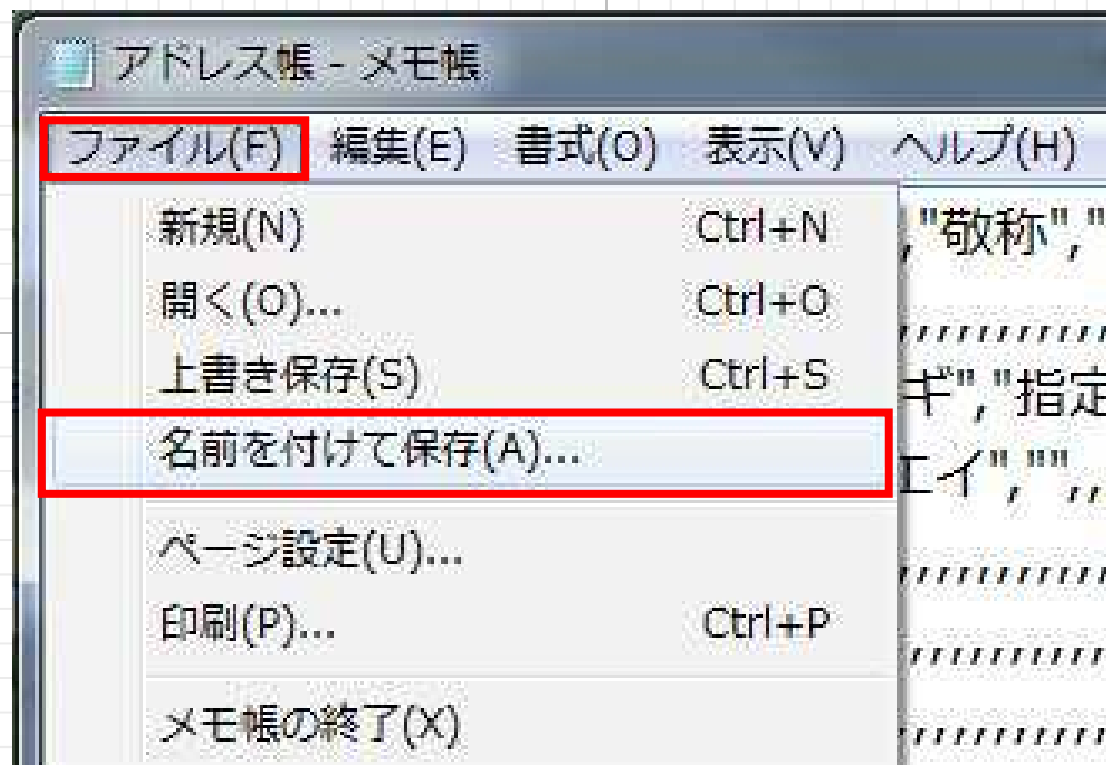
デスクトップに「アドレス帳」ファイルが作成されました。
これでエクスポートは完了です。



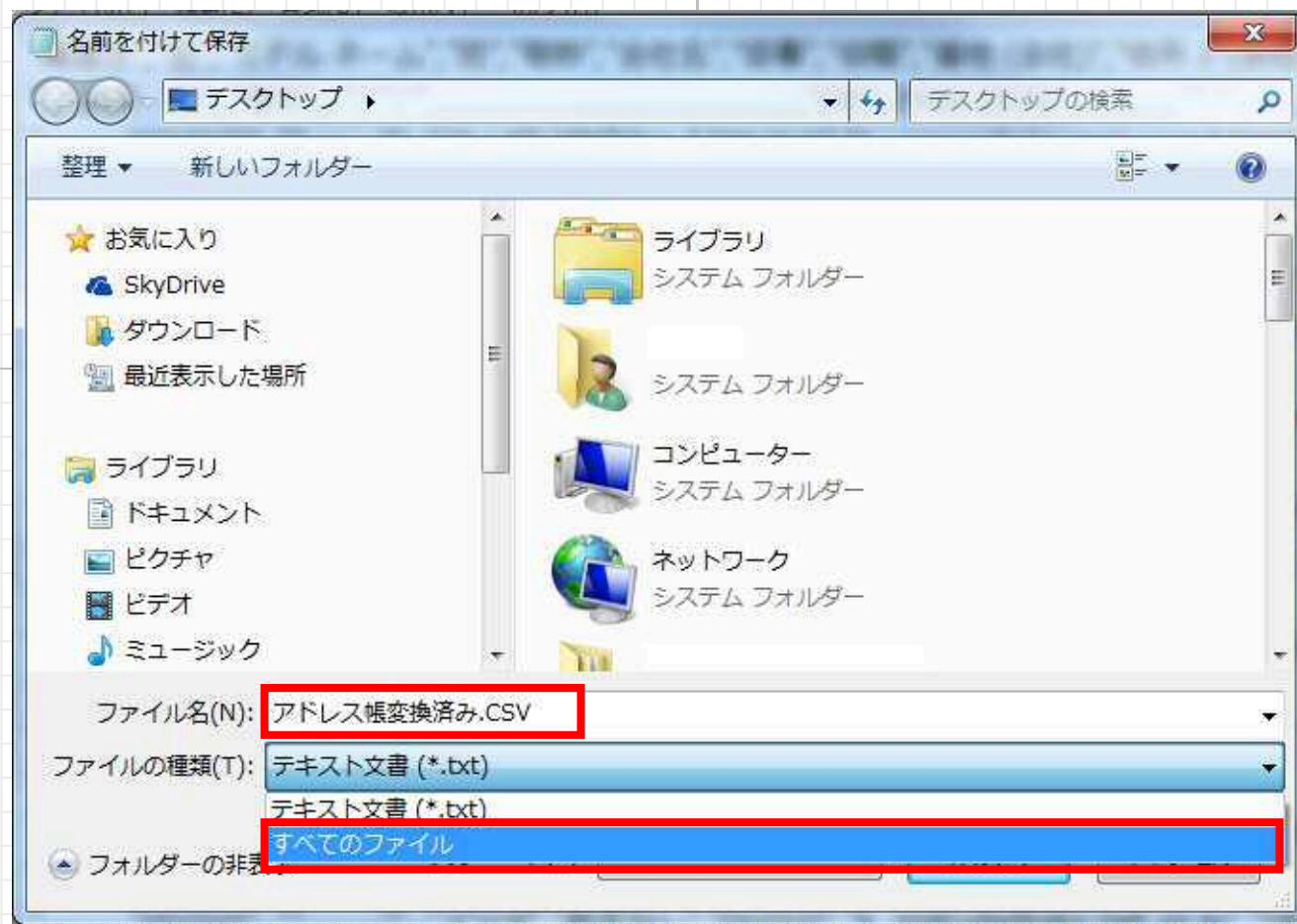
次に、先ほど作成したCSV形式のアドレス帳の文字コードを変換します。
「アドレス帳」ファイルを右クリックし、【プログラムから開く→メモ帳】を選択します。



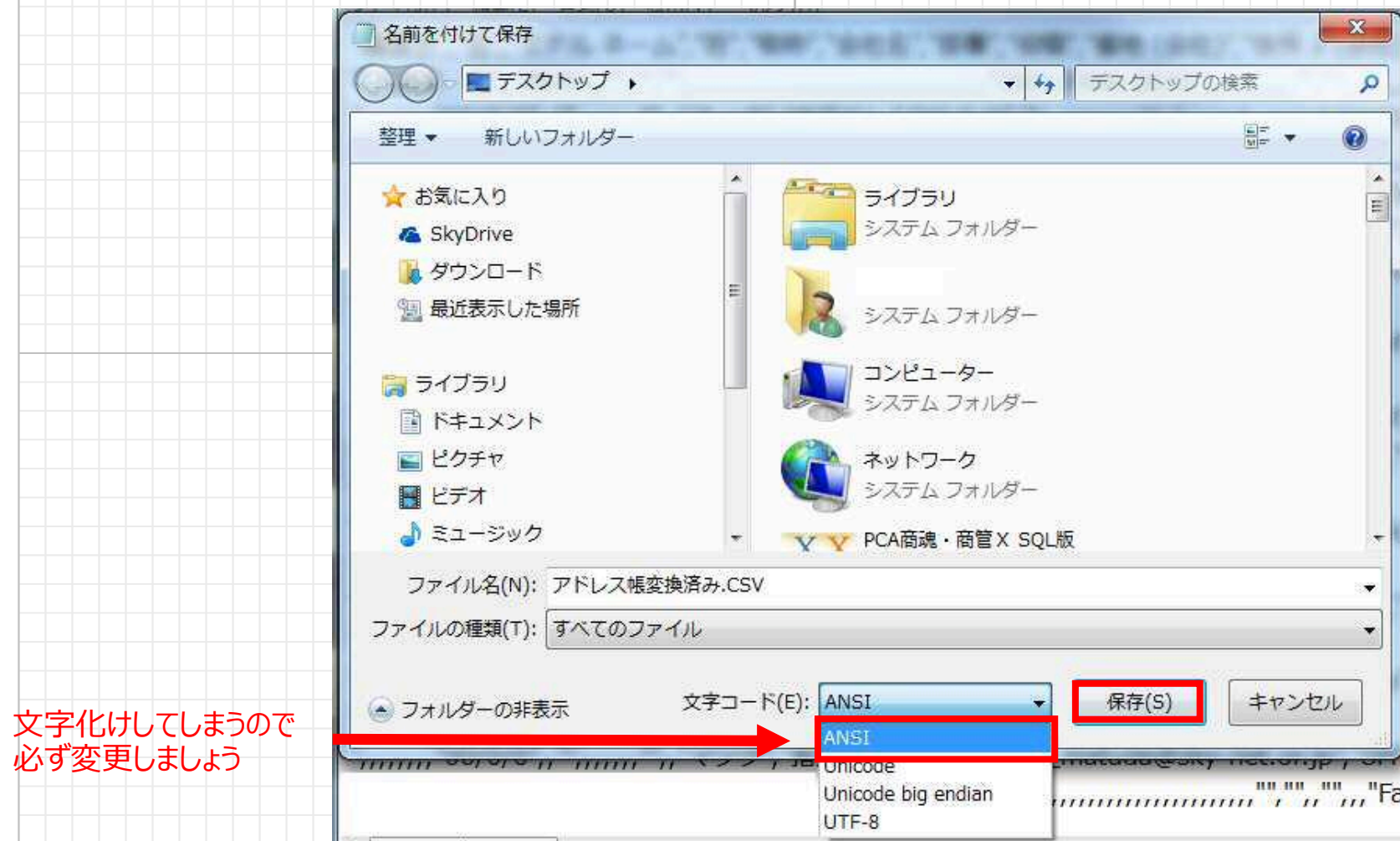
メモ帳で開いたら、【ファイル→名前をつけて保存】を選択します。



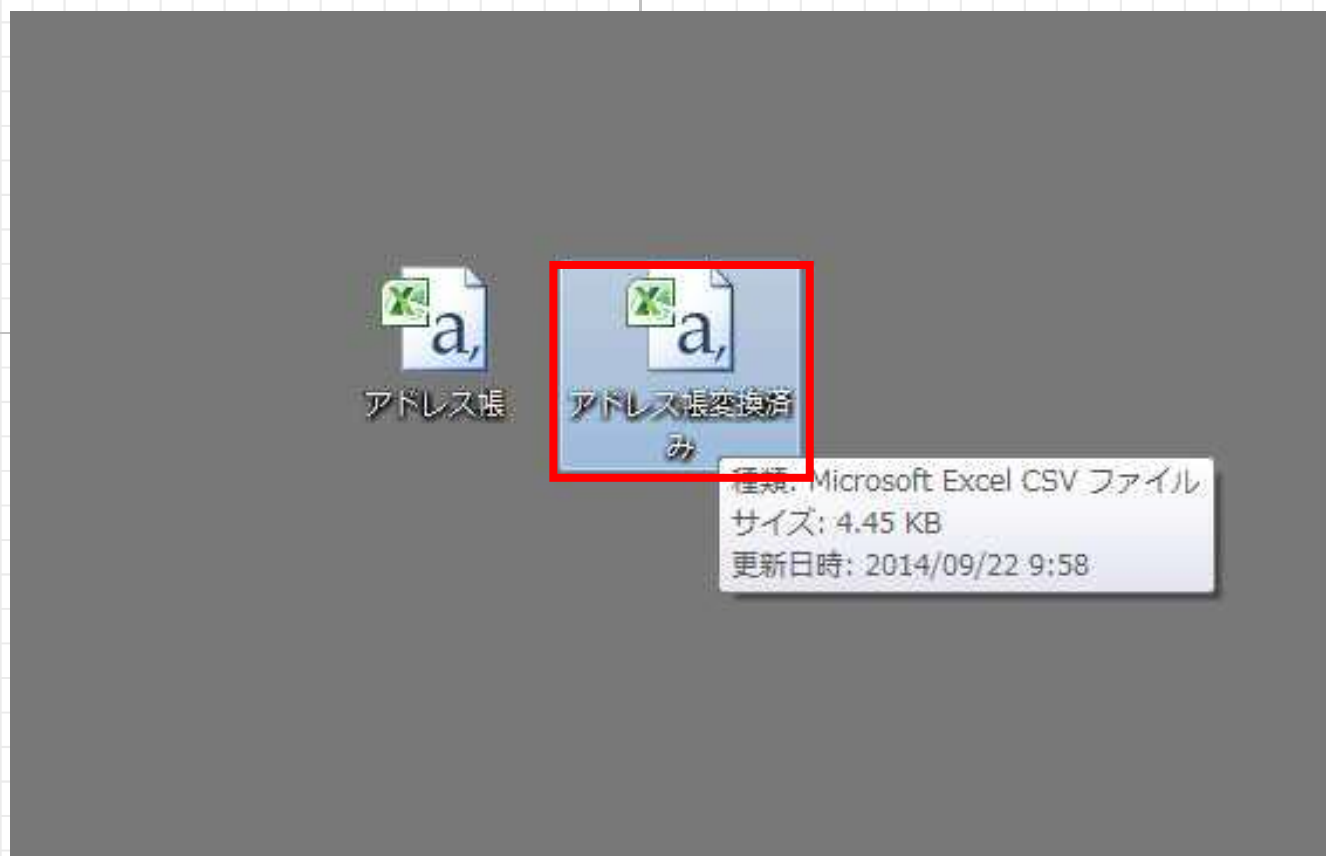
先ほどのファイルとは違う名前に変更し、ファイル名の後ろに【.csv】を付けて保存します。
保存するときにはファイルの種類は【すべてのファイル】を選択します。



保存する際に必ず文字コードのところは【ANSI】を選択し
保存してください。



保存すると、文字コードの変換されたcsvファイルが保存されています。
これで変換は終了です。



次に、Outlook2013の設定です。WindowsLiveメールからアカウントの移行はできないので、新しく設定するようになります。

Windows Liveメールの設定を確認し、アカウントの設定をおこなってください。

今回は設定をせずに先に進みます。

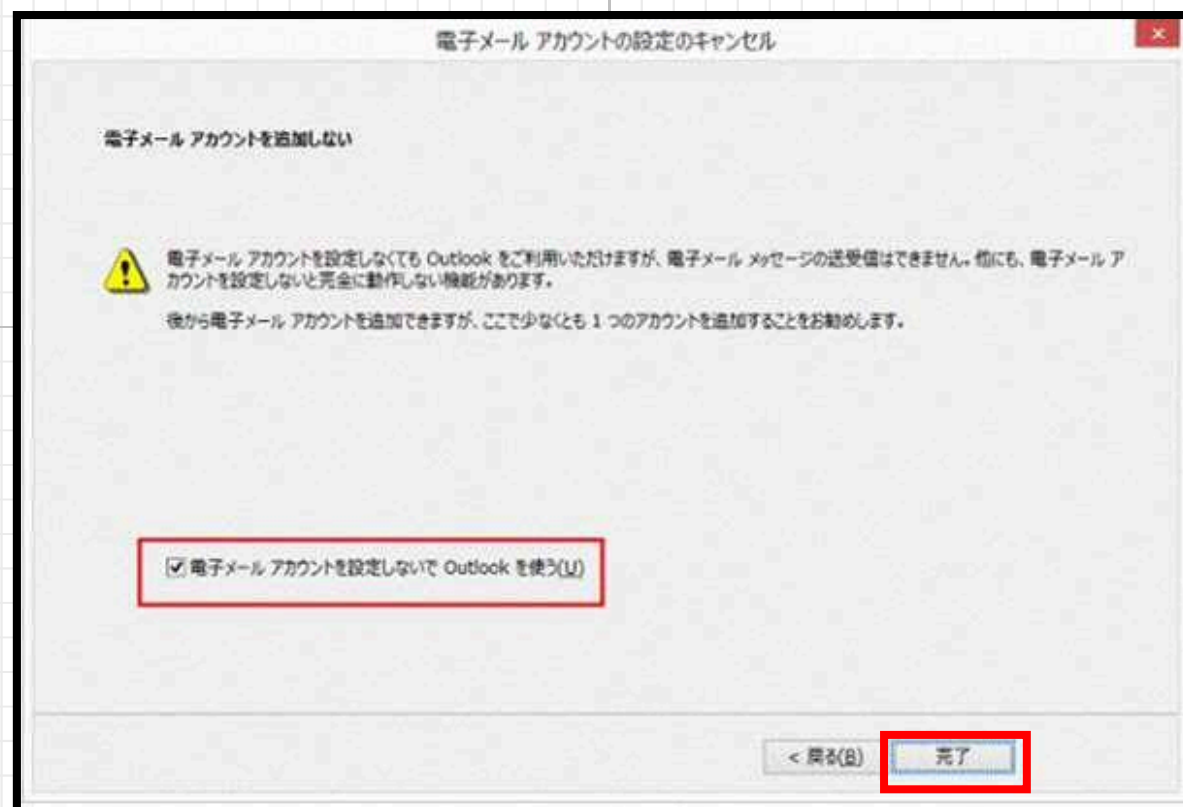


最初に開いたときはこの画面から始まります。
【次へ】で先に進みます。

「電子メールアカウントに接続するようにOutlookを設定しますか？」
と聞かれますが【いいえ】を選択し、【次へ】で先に進みます。



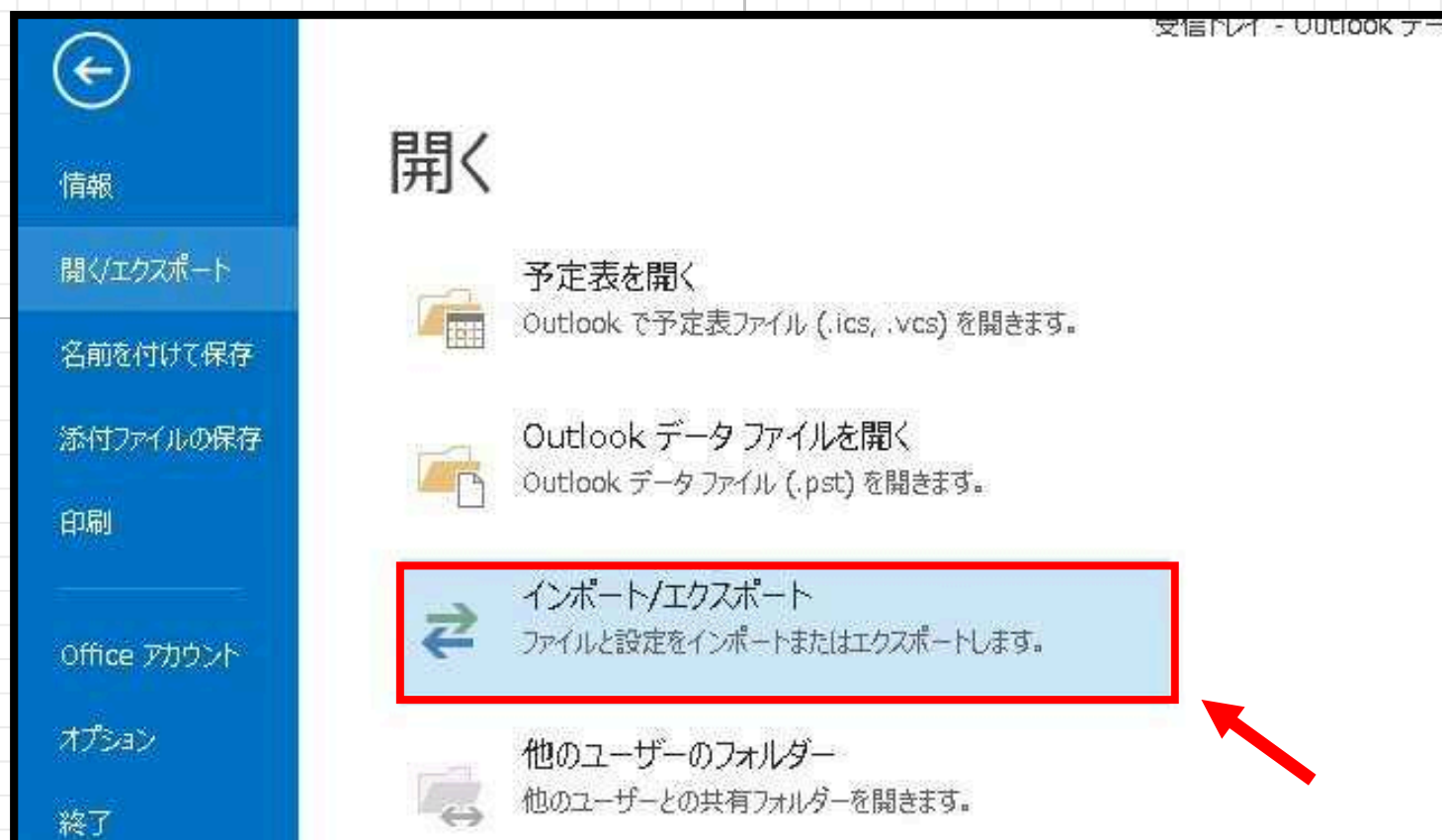
「電子メールアカウントを設定しないでOutlookを使う」
を選択し、【完了】でウィザードを終了します。



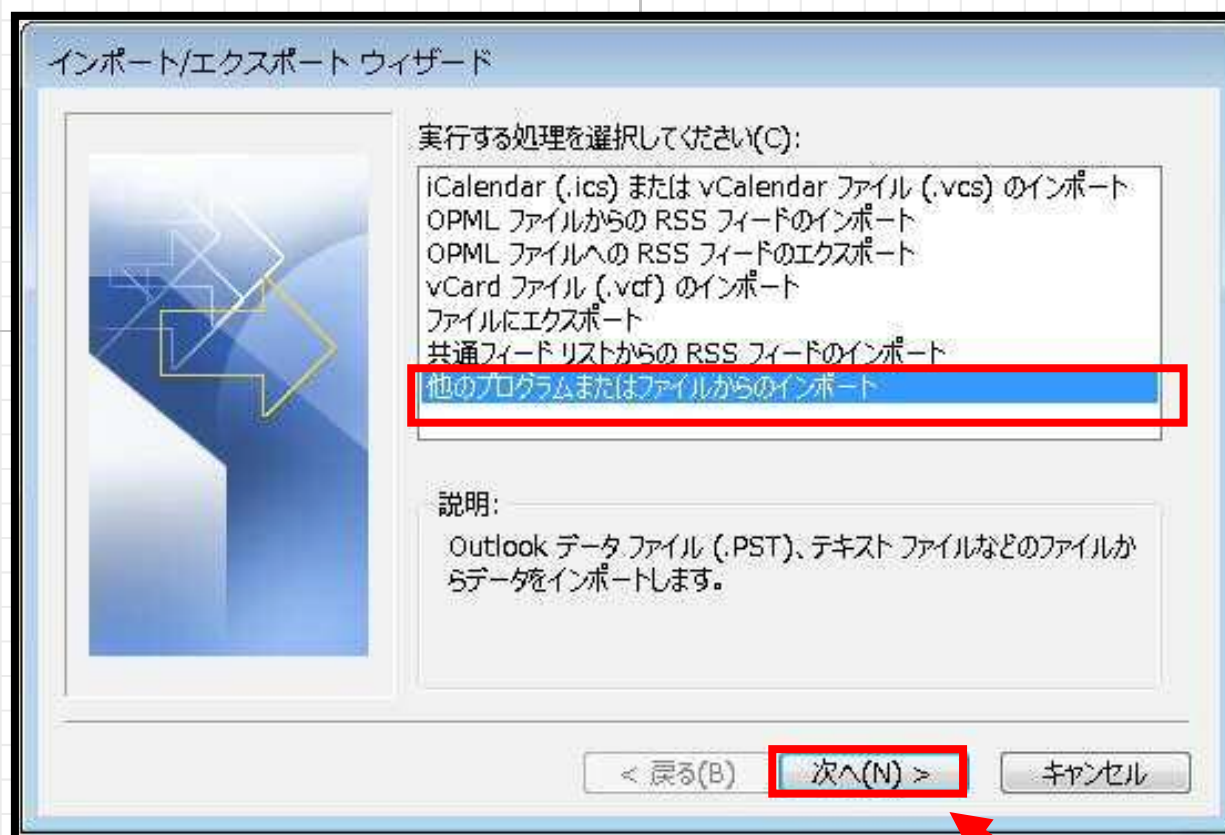
Outlookが開いたら、まずアドレス帳のインポートを行います。
【ファイル】をクリックし、【開く/エクスポート】を選択します。



【インポート/エクスポート】を選択します。

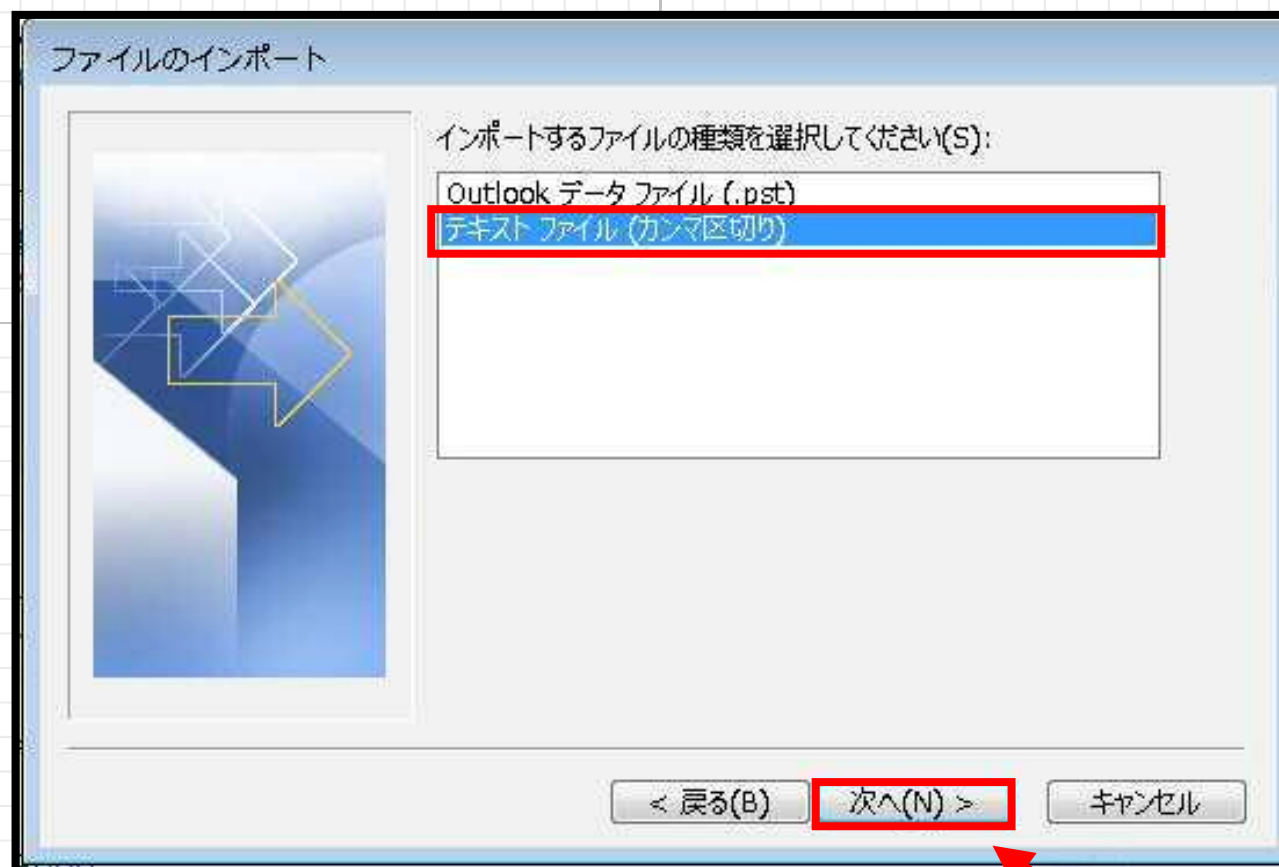


ウィザードが開きます。実行する処理を選ぶ画面が表示されるので、
【他のプログラムまたはファイルからのインポート】を選択し、【次へ】をクリックします。

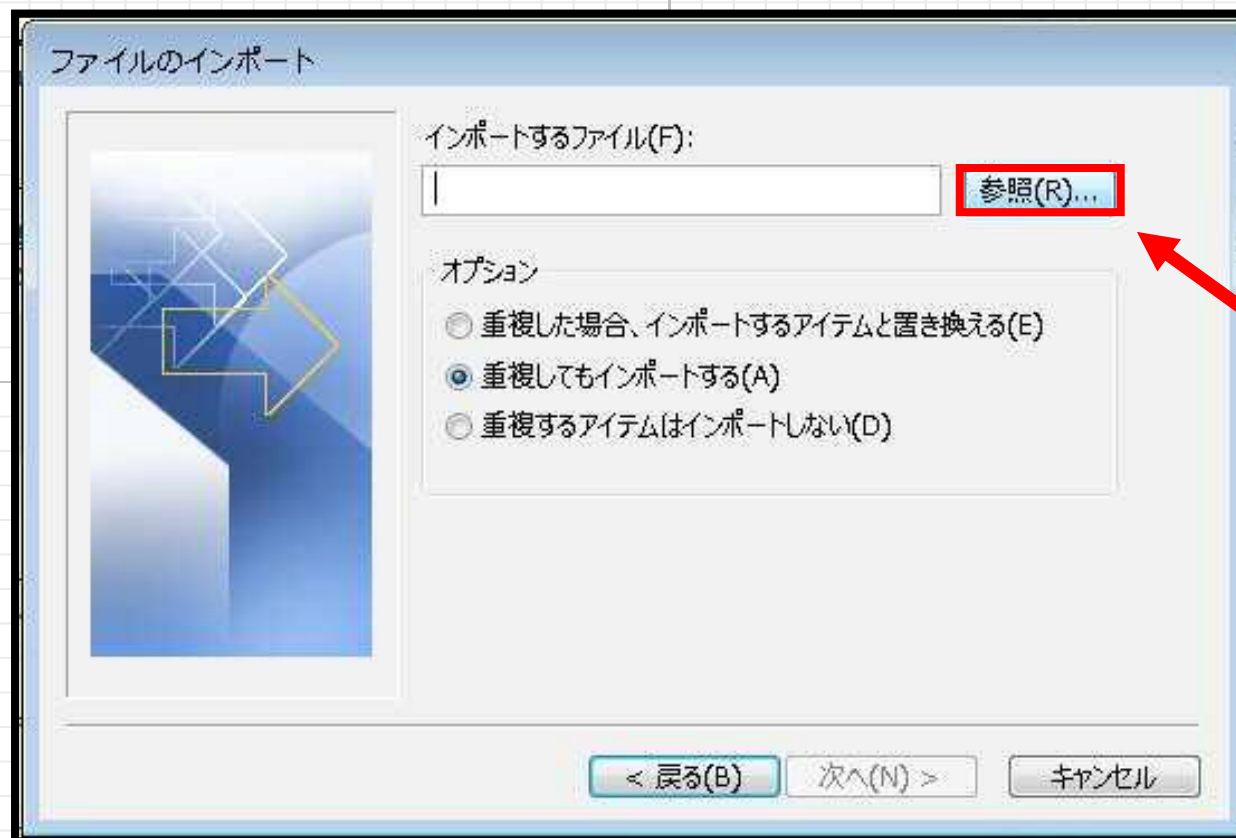


インポートするファイルの種類を選択します。

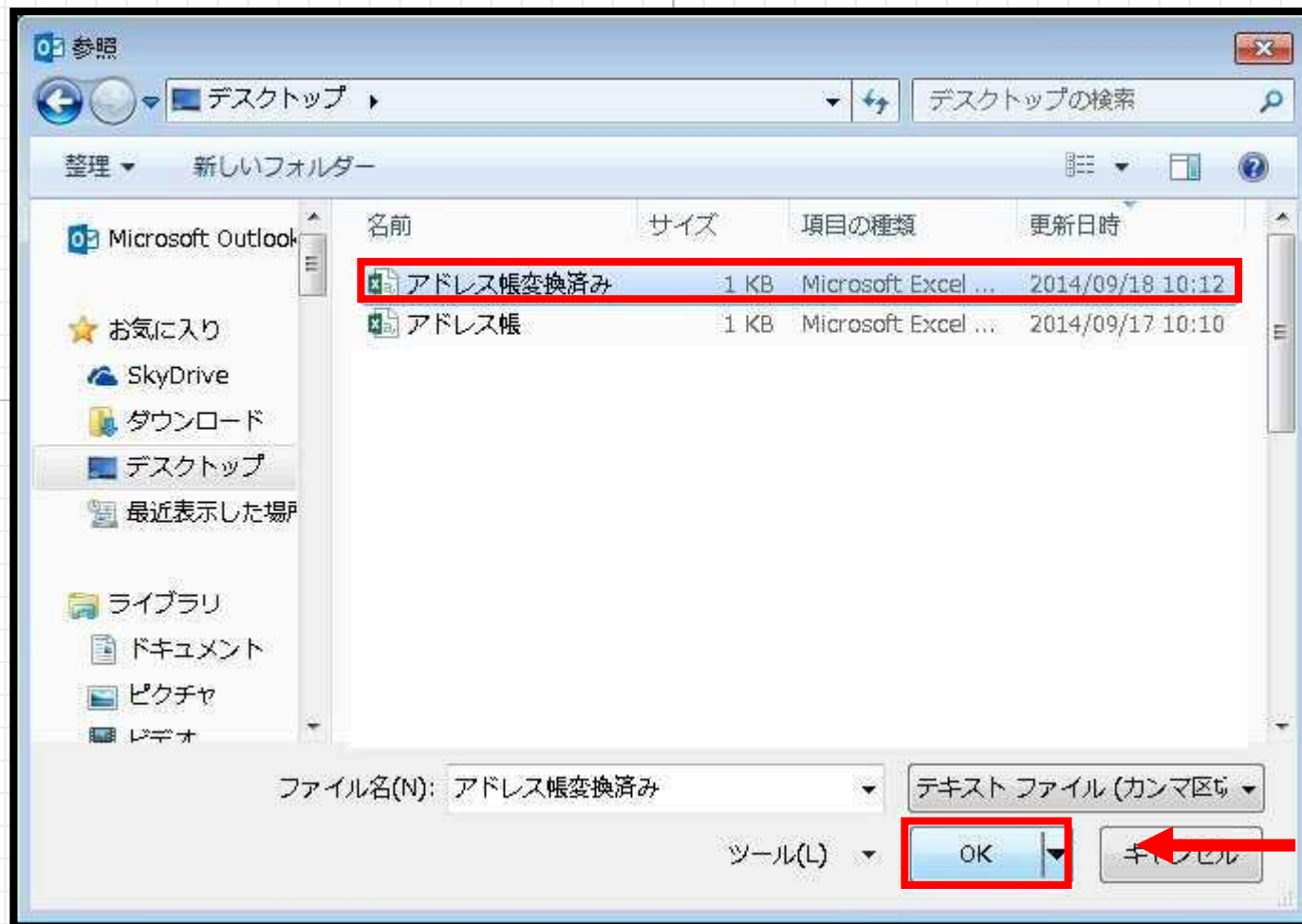
【テキストファイル(カンマ区切り)】を選択し、【次へ】をクリックします。



インポートするファイルを【参照】をクリックして選択します。



先ほど変換したCSVファイルを選択し、【OK】をクリックします。



ファイル名が指定されたのを確認し、【次へ】をクリックします。



インポート先のフォルダを指定します。

一番下の【連絡先】フォルダを指定し【次へ】を選択します。



全て指定が終わったら、【完了】をクリックしインポートを開始します。

終了したら連絡先の中にアドレス帳が移行されていることを確認し、完了です。

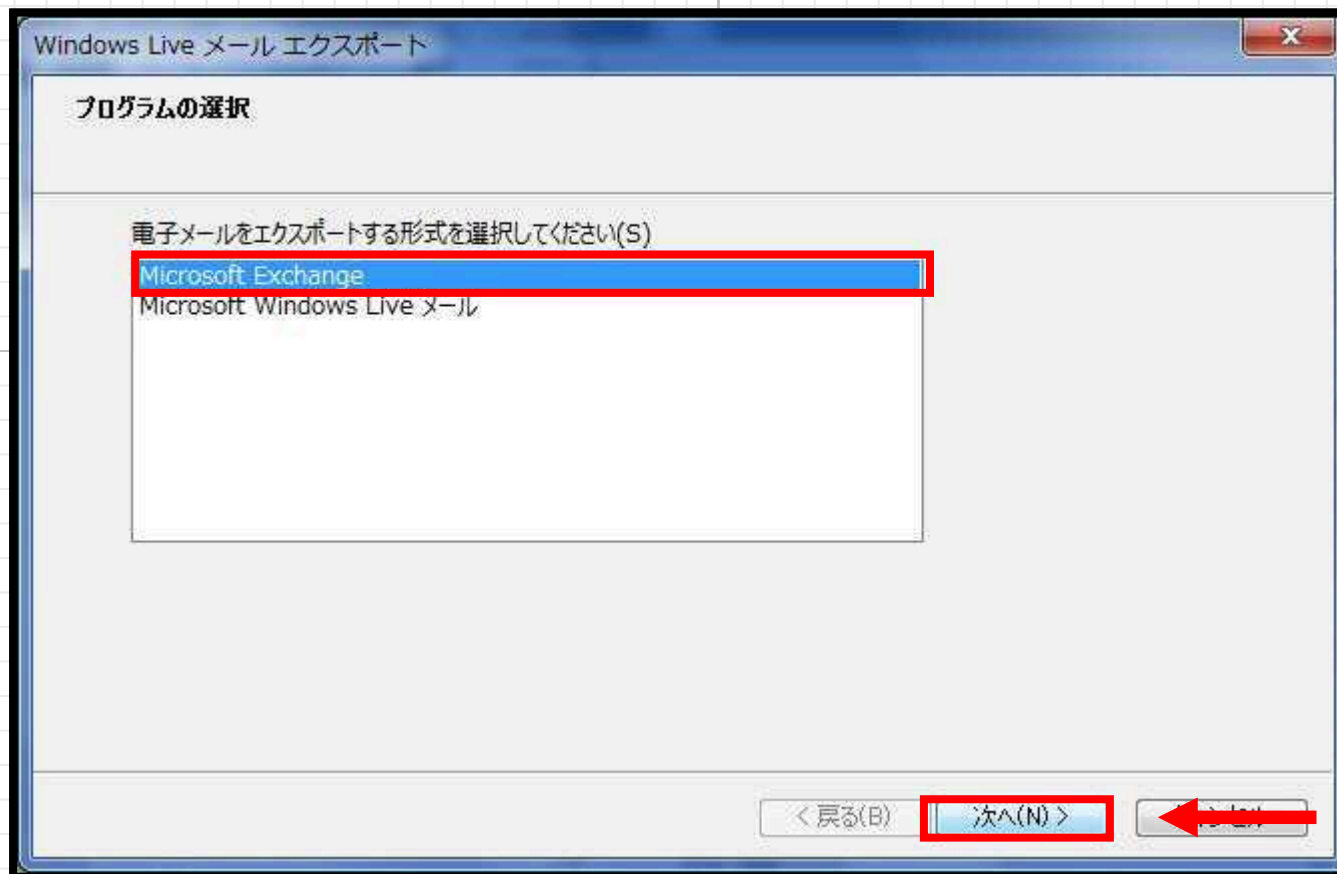


メールデータの移行を行います。Liveメールを開き、左のタブをクリックし、
【電子メールのエクスポート→電子メールメッセージ】を選択します。

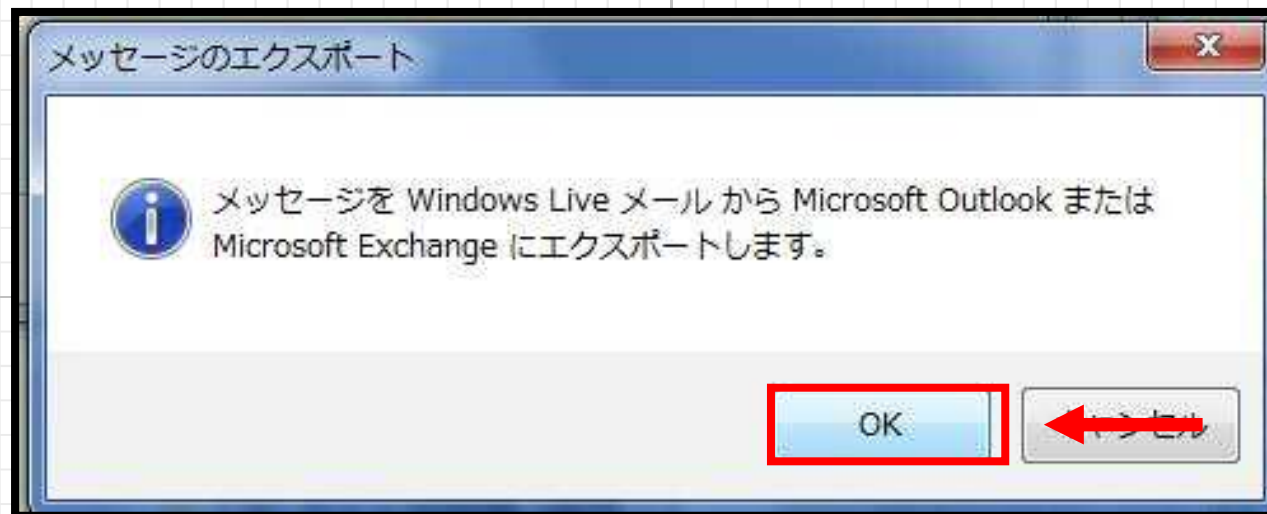


エクスポートする形式を選択します。

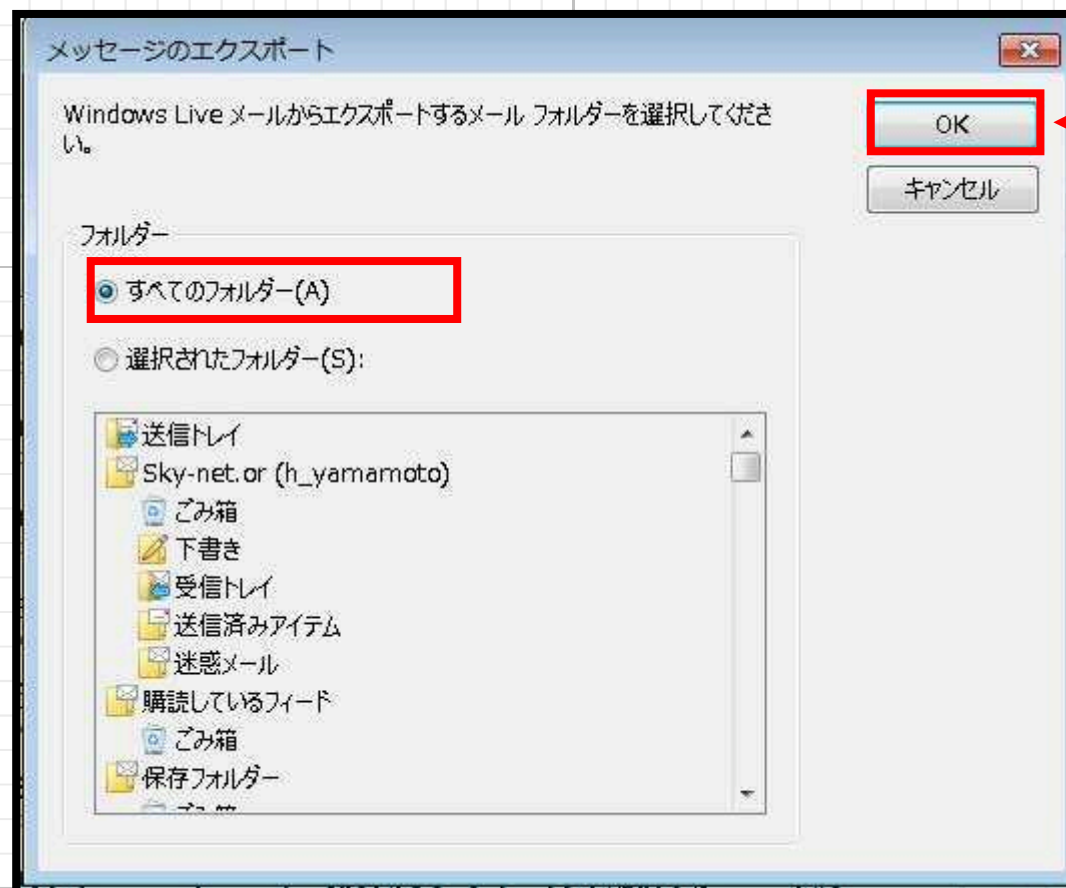
「Microsoft Exchange」を選択し、【次へ】をクリックしてください。



エクスポートの確認画面が出てくるので、
【OK】を選択してください。



エクスポートするフォルダを選択する画面になりますが、
「すべてのフォルダー」を選択してください。
フォルダを選択したい場合は「選択されたフォルダー」を選び、
フォルダを選択し、【OK】をクリックします。

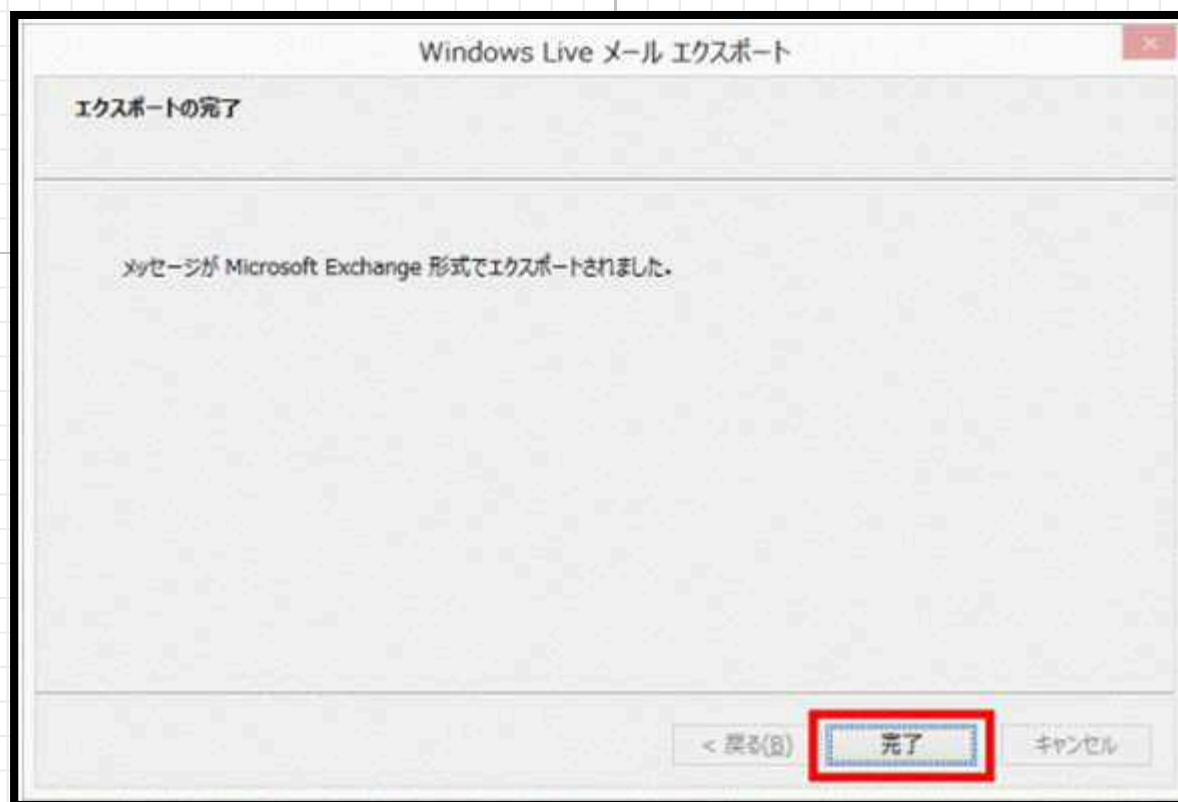


エクスポートが完了すると、下図のメッセージが表示されます。

【完了】をクリックしてください。

これでOutlook2013にメッセージが移行されました。

完全に移行されているか確認し、メールデータ作業は完了です。



続いて、アカウントの追加を行います。

トップページの【ファイル】をクリックしてください。



【情報】タブの【アカウント情報→アカウントの追加】をクリックしてください。



アカウントの設定を行います。

「自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする」にチェックを入れ

【次へ】で先に進みます。

アカウントの追加

自動アカウント セットアップ
アカウントを手動で設定するか、または他の種類のサーバーに接続します。

☐ 電子メール アカウント(A)

名前(N):
例: Eiji Yasuda

電子メール アドレス(E):
例: eiji@contoso.com

パスワード(P):

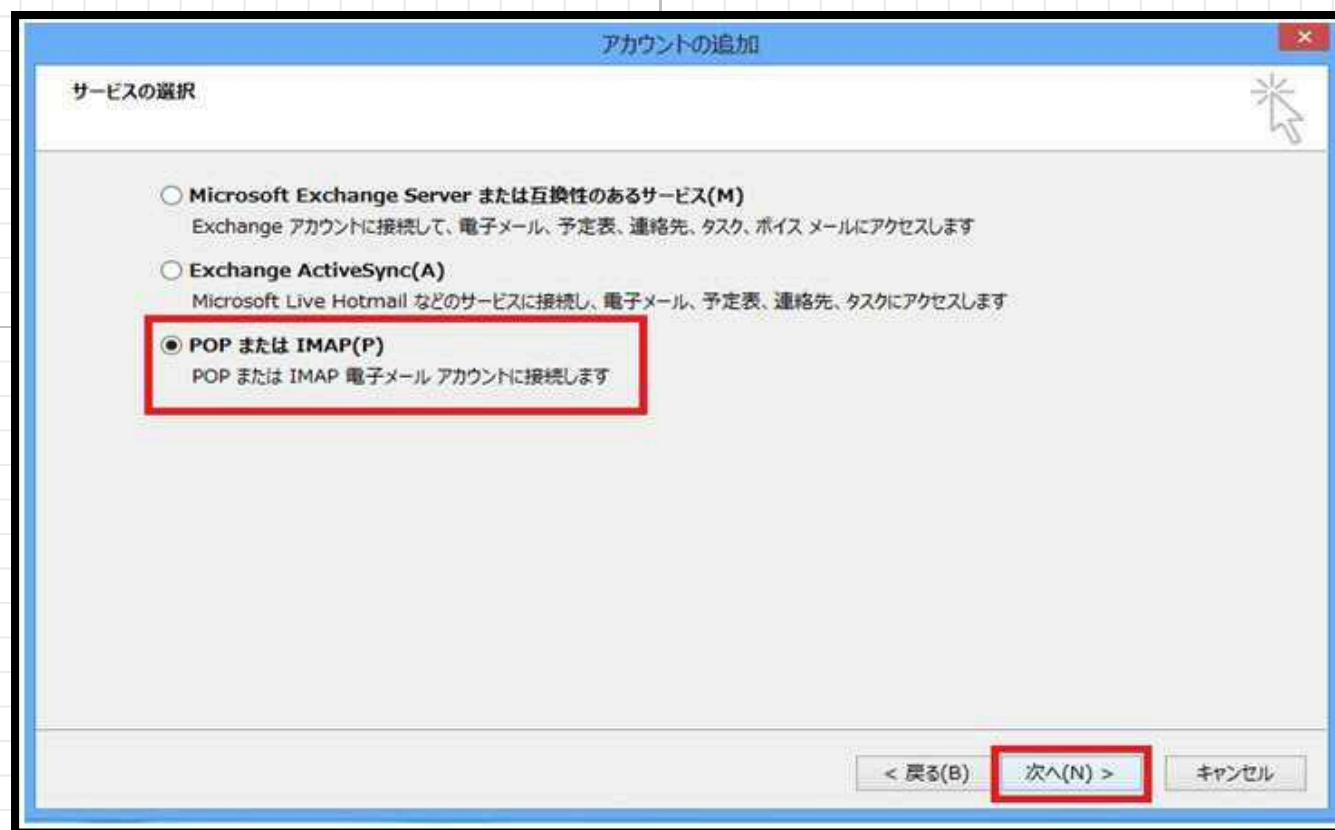
パスワードの確認入力(C):
インターネット サービス プロバイダーから提供されたパスワードを入力してください。

☒ 自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする (手動設定)(M)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

サービスの選択を行います。

【POPまたはIMAP】を選択し、【次へ】をクリックしてください。



アカウント情報を入力していきます。

プロバイダから提供されたアカウント情報を入力してください。

入力が完了したら、【詳細設定】をクリックしてください。

☆必要な情報

・名前(任意の氏名)

※以下はプロバイダより提供

・メールアドレス

・アカウントの種類

・受信メールサーバー

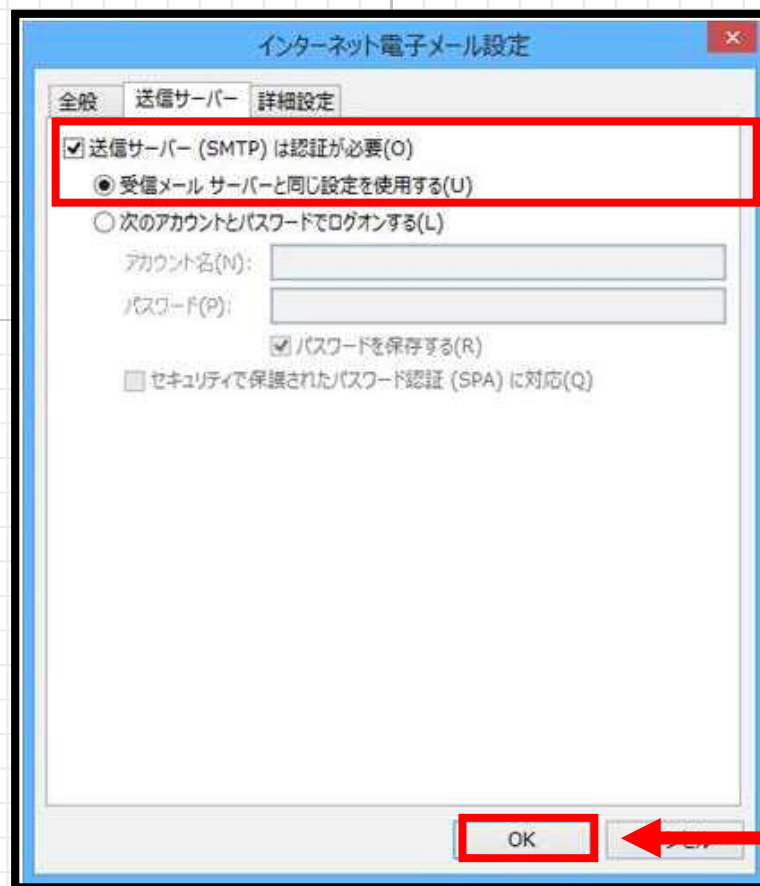
・送信メールサーバー

・アカウント名(アドレスの
@以前)

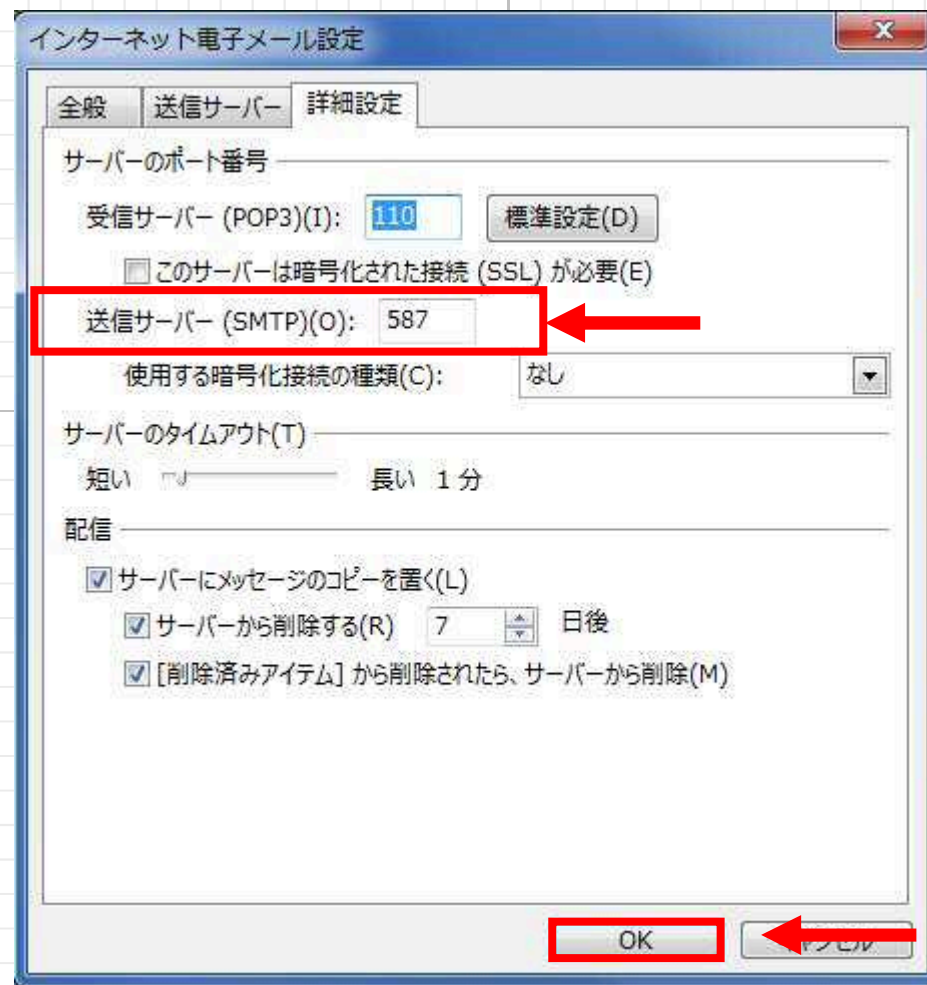
・パスワード

☆ 詳細設定

【送信サーバー】タブの【送信サーバーは認証が必要】にチェックを入れ、
【受信メールサーバーと同じ設定を使用する】を選択してください。



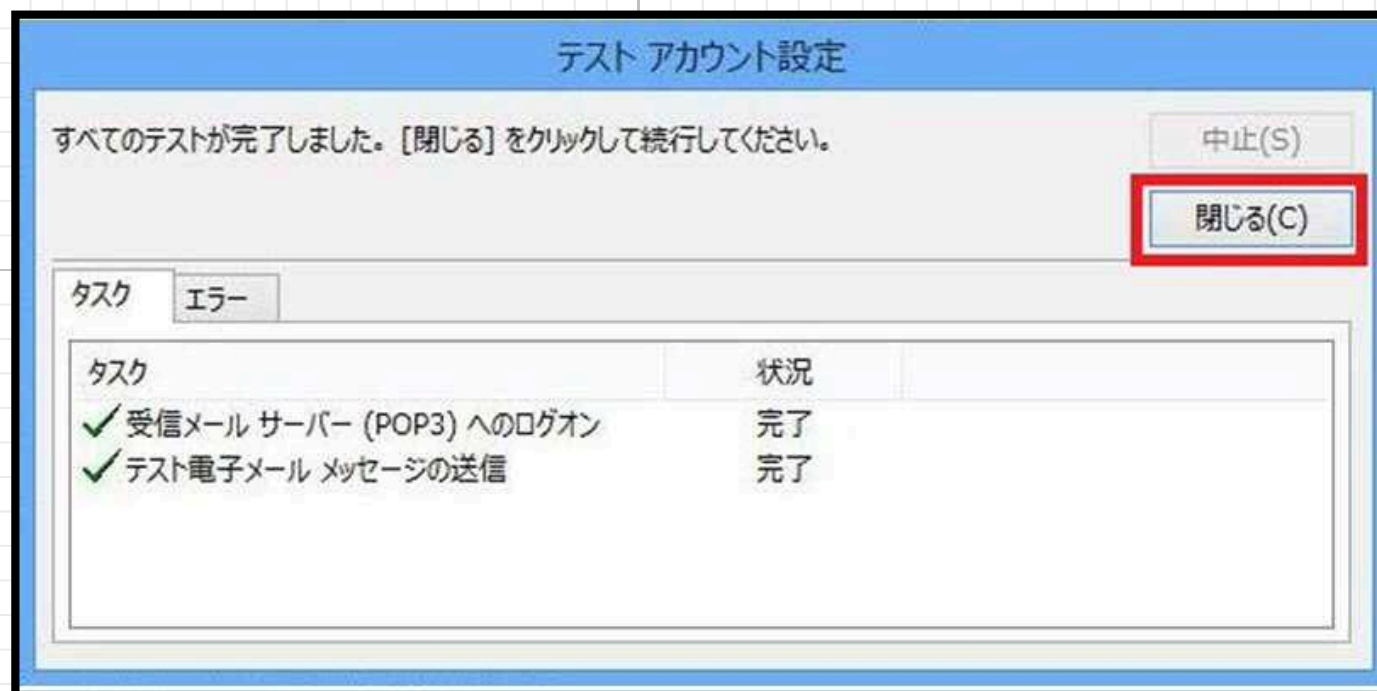
【詳細設定】のタブの送信サーバーのポート番号のところを【587】に変更してください。
その後、OKをクリックして下さい。



入力画面に戻りますので、「次へ」ボタンをクリックして下さい。

テストアカウントがうまくいけば以下の画面が表示されます。

【閉じる】をクリックしてください。



入力画面に戻りますので、【「次へ」ボタンをクリックしたらアカウント設定をテストする】のチェックを外してからもう一度【次へ】をクリックします。

アカウントの追加

POP と IMAP のアカウント設定
お使いのアカウントのメール サーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報
名前(Y): お名前を入力してください
電子メール アドレス(E): メールアドレスを入力してください

サーバー情報
アカウントの種類(A): POP3
受信メール サーバー(I): mail.cncm.ne.jp
送信メール サーバー (SMTP)(O): mail.cncm.ne.jp

メール サーバーへのログイン情報
アカウント名(U): メールアドレスを入力してください
パスワード(P): *****
☒ パスワードを保存する(R)

☐ メール サーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ボックスをオンにしてください(Q)

アカウント設定のテスト
アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。

アカウント設定のテスト(T)
☒ [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)

新しいメッセージの配信先:
☒ 新しい Outlook データ ファイル(W)
☐ 既存の Outlook データ ファイル(X)
参照(S)

詳細設定(M)...

< 戻る(B) 次へ(N) >

以上でセットアップが完了しました。

【完了】をクリックしてウィザードを終了してください。

テストメールの送受信で設定の最終確認をすることをお勧めします。



